

資料3 別紙

「管理業務詳細」

保守点検業務

- ・園内全域

園内全域の巡視を毎日1回実施するだけでなく、異常の有無を確認し、日報にまとめる。

- ・ポンプ類

目視、聴音等による点検を週1回実施し、良好な状態を維持する。また、故障等の異常については、速やかに対応する。

- ・給水施設

水飲場、散水設備等の給水施設は日常的に点検調整を行い、良好な状態を維持する。また、故障・漏水等の異常については、速やかに対応する。

清掃管理業務

施設毎の清掃管理業務は以下のとおり実施する。

- ・園内全域

園内巡視と併せて、竹箒、熊手、ブロワー等により、落葉、ごみ等の清掃を適宜実施する。ただし、園路、集いの広場、イベント広場、冒険広場、学習棟、駐車場、環境教育プログラムコース等の人の集まりがある主要な区域は週3回実施する。

- ・建築物

外壁は、汚れ、カビ、コケ等の発生がない状態を維持し、美観を維持するように清掃を適宜実施する。

また、トイレ・床等の清掃は毎日1回、窓ガラス・照明器具等の清掃は高所での作業を除き月1回、床のワックスがけは年1回実施する。

- ・排水設備

水路、排水桝等の排水設備について、水面の落葉、ごみ等を撤去するだけでなく、堆積す

る土砂等を撤去する。なお、冒険広場大型駐車場とイベント広場にある排水桝に堆積する土砂等の撤去は年1回(5～6月)実施する。

・せせらぎ

水が滞留し、藻が発生するおそれがあるため、上流から下流まで堆積する土砂を撤去するだけでなく、水抜き作業も併せて年1回(6月)実施する。

また、せせらぎの清掃管理業務を実施した際は、作業日、作業場所、作業内容及び作業人員を速やかに市に報告しなければならない。なお、作業前及び作業後の写真を市に提出(データでの提出可)しなければならない。

植栽管理業務

・樹木剪定は中低木を対象とし(図面1参照)、枝の伸長や花芽の分化等を考慮し、適切な時期に以下のとおり実施する。

アベリア・・・年2回

ヒラドツツジ、ハクチョウゲ、マサキ、キンモクセイ・・・年1回

ただし、枯枝、危険木については、全ての樹木を対象とし、危険がないよう適宜処理する。

・草刈(A)(図面2参照)は草刈機等を用いて、地際から刈り取るものであり、対象面積に対して年3回(4～6月、7～9月、10～12月)実施する。

・草刈(B)(図面2参照)は刈りむら、刈り残しのないよう雑草を均一に刈り取るものであり、年1回実施する。

・人力除草(図面2参照)は抜取除草とし、常時、美観を維持するように実施する。

・樹木消毒(図面1参照)は育成阻害、利用者の不快感や虫刺され等を予防するため、年1回実施する。また、病虫害の発生が認められた場合、速やかに消毒を実施する。

・人力除草を除く植栽管理業務を実施した際は、作業場所が分かる書類、作業前及び作業後の写真を日報の提出と合わせて、毎月実施する定期モニタリングまでに市に提出(データでの提出可)しなければならない。

遊具等点検業務

遊具の点検は、「遊具の安全に関する規準(JPFA-SP-S:2024) 一般社団法人日本公園施設業協会」に基づき実施する。

- ・日常点検

日常点検を月1回実施する。日常点検とは、目視診断・触手診断・聴音診断等により、遊具の異常や劣化等の有無を調べるため、日常的に行う点検である。

また、日常点検で異常が認められた場合、必要に応じて使用禁止措置を取るだけでなく、速やかに修繕等の対応を取らなければならない。

遊具の修繕等を実施した際は、作業日、作業場所、作業内容及び作業人員を記録した作業報告書を速やかに市に提出しなければならない。なお、作業報告書には作業前及び作業後の写真を添付しなければならない。

- ・定期点検

定期点検を年1回実施する。定期点検は専門技術者または点検技術者が目視診断・触手診断・聴音診断・打音診断・揺動診断、あるいは JPFA 点検器具や測定機器等を使用して行う点検である。

また、定期点検で異常が認められた場合、必要に応じて使用禁止措置を取るだけでなく、速やかに修繕等の対応を取らなければならない。

遊具の修繕等を実施した際は、作業日、作業場所、作業内容及び作業人員を記録した作業報告書を速やかに市に提出しなければならない。なお、作業報告書には作業前及び作業後の写真を添付しなければならない。